

みどりの

21世紀 地球を、地域を、生活を、  
持続可能な豊かさに

# ニュースレター

6

2008  
No.181

特集：

## 持続可能なまちづくりの提案

～欧日のまちづくりから考える

Sustainable  
Development

持続可能な開発

Ecology

環境

Economy

経済

Social Justice

社会的公正



特定非営利活動法人

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -

<http://www.kankyoshimin.org>

¥200

収益の一部は環境市民の活動資金として  
使わせていただきます。なお、会員には  
毎月無料配布しています。

# みどりの ニュースレター

No.181  
2008年6月号



## index

### コレため！

おいしい水を考える  
…02

### 特集：持続可能なまちづくりの提案 ～欧日のまちづくりから考える

…03-07

### 行事案内

…08-09

### 住まいのエコ Q&A 新コーナー

第1回「結露と断熱材」  
…10-11

### とれたて！環境市民

もっと自転車が好きになる 2008  
春のサイクリングツアーブラジル  
…12

### りじこらむ no.2

環境市民との出会いではじめたエコシティ研究  
白石 克孝  
…13

### 読者交流コーナー みどりのかわらばん

…14

### 1/ 環境市民

がんばりました環境首都コンテスト。  
ユニークなTシャツに注目！  
山崎 永文さん  
…15

次号  
予告 みどりの  
ニュースレター No.182  
2008年7月号

現在  
編集中！

特集：温暖化防止のために、  
今こそ、グリーンコンシューマーを増やそう！

温暖化防止のためにはグリーンコンシューマーを増やしていく必要があります。しかし、エコ商品が店頭で気軽に手に入らない、信頼できる環境情報がない、などの問題があります。特集では、何が課題で、環境市民はそれらをどう解決していくかとしているのかを伝えます。

## コレため！

コレ、ためして  
みました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズを  
スタッフが体をはって実践レポートします！

File  
35

### おいしい水を考える



人間の体の60%は水でできているので、新鮮で安全な水を選ぶことは大切なこと。最近は水道水の汚れが気になってペットボトルの水を買う人が増えてきましたが、「水を買う」ことによって排出されるCO<sub>2</sub>、容器のごみのことを考えると心が痛んでいました。

でもやっぱり健康のためにもきれいでおいしい水が飲みたい！横浜在住の私は直接蛇口からの水道水を飲めます。しかし、やかんで沸騰させ一晩汲み置きしておいた水と飲み比べてみると、その差は歴然でした。ツーンとした臭いも消え、味はさらっとしていてごくごくおいしく飲めました。沸騰後すぐに火を止めずに充分に煮沸せると、トリハロメタン（発ガン物質）をほとんど除去できます。

次に、水道水を入れた容器の中に竹炭を入れた水道水と比べてみました。まず見た目にびっくり！どこか透明感が出たよう見え、飲んでみると少しどっしりとした重みがありました。それもそのはず、竹炭は臭いのもとになっている塩素やカビ、味を悪くしている有機物や不純物を吸着して、竹炭の孔にいる微生物がそれをきれいに分解処理しています。重みのある味というのは、竹炭に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が水に溶け出しているため。水のおいしさはミネラル成分とそのバランス（硬度）、水温、不純物の混入具合で決まるそうです。竹炭は繰りかえし使えるので、水を買うよりもずっと経済的です。このようにひと手間かけるだけでおいしい水ができます。

水は循環しているもの。海や川からの水蒸気が雲を作り、雨を降らせ、私たちに恵みを与え、それがまた海や川に戻るといったサイクルが存在しています。おいしい水のために大切なことは、生き物が住める河川を守ることです。地球の生態系のことを考えて、水は限りある資源だということも忘れてはなりませんね。当たり前すぎて見逃していたことに目を向けることができました。

(文 / ニュースレター編集部 駒 ゆき香)

(参考文献)

鈴木 紀雄 著「飲み水を考える」家の光協会

藤田 純一郎 著「ミネラルウォーターの処方箋」日東書院

# 特集：持続可能なまちづくりの提案

## ～欧日のまちづくりから考える

**2** 008年は京都議定書第一約束期間突入の年。来月、北海道で開催される洞爺湖サミットは地球温暖化防止策がその主要テーマとなります。先進国日本の果たすべき役割は大きいのですが、具体的な将来ビジョンに乏しく、政府の温暖化防止政策の実効性も疑問視されています。

### 地域から持続可能なまちをつくる七つのポイント

文 / 環境市民 代表理事 枚本 育生

持続可能で豊かな社会を実現するためには、どこを基盤に始めるべきであろうか。持続不可能性は、地球規模でとらえられている問題である。ただ、いきなり地球規模での変革を求めるることは難しい。この「持続可能な」という概念を世界に大きく認識させることになったのは1992年のリオデジャネイロでの通称「地球サミット」<sup>\*1</sup>である。そのサミットでの包括的でもっとも重要な合意文書がアジェンダ21である。

アジェンダ21とは21世紀の課題という意味であるが、その第28章に「アジェンダ21で提起されている諸問題及び解決策の多くが地域的な活動に根ざしているものであることから、地方公共団体<sup>\*2</sup>の参加及び協力が目的達成のために決定的な要素になる」と記されている。紙幅がないので、なぜそうなのかということは別の機会に譲るが、持続可能で豊かな社会を実現する基盤は、地域にあることを明確に述べている。

それでは、持続可能で豊かな社会を、地域から実現するためには、何が必要であろうか。環境市民では環境首都コンテストをはじめとする様々な活動、国内外の自治体との交流などを発展拡大させながら、このことを考えてきた。そして現在の時点で七つのポイント<sup>\*3</sup>があるのではと考察している。そのポイントを端的に紹介したい。

#### 1 人が基礎

ドイツや日本の先進的な取り組みをしている地域を訪ねる度に、キーパーソンに出会った。その人々は、市長・町長、NPO、自治体職員、企業と立場は様々であったが、この社会を、そして世界を良くしたいという強い意欲のある人であった。もちろんリーダーシップは重要であるが「俺についてこい」ではなく多様な人々との合意や協働をつくるコーディネーター的要素の強いものである。そのような人々は潜在的にはどの地域にもいる。それを顕在化させるための施策、活動、組織運営などに力を入れることが重要だ。

#### 2 わかりやすい将来像

私たちが望ましいとする地域社会像、こんなまちに住

一方で海外の自治体に目を向けると、本当の意味で持続可能な社会の実現に挑戦し、そのための仕組みをつくっているまちが数多くあります。これら先進的なまちのなかから、ヨーロッパの三つのまちにスポットをあて、その取り組みから日本は何をすべきか考え、提案します。

### 地域から持続可能なまちをつくる七つのポイント

文 / 環境市民 代表理事 枚本 育生

みたいと思う社会、そして持続可能な社会、そのような地域社会の将来像を住民合意で描くことである。地域には、文化的、自然的、産業的など様々な特性があり、その将来像も、理念には共通することはあるものの、多様である。日本の政府も、自治体の多くもこの将来像がなく場当たり的な対策行政に追われている。共通の目標とする将来像を描くことによって、戦略的な政策、行動が可能となり、また評価検証の軸をつくることができる。

#### 3 パートナーシップ 参画と対話

今号で白石さんが紹介しているバーミンガムの事例にあるように、パートナーシップは必須の要素である。持続可能な社会は、優れた為政者がいれば実現するのではない。ライフスタイル、経済活動そのものの根本的変革が必要である。この点からも、多くの人々が主体的に参画するパートナーシップの仕組みづくりが必要である。日本の自治体でもパートナーシップ、協働が盛んに言われるようになってきた。しかしながら自治体も住民も及び腰のところが多い。戦略的なパートナーシップを社会の必須要素として取り入れていくことが求められる。

#### 4 環境、経済、社会を重ね合わせる

持続可能な社会の説明として、よく用いられるのが環境、経済、社会（的公正）の三要素とも良い方向に向かっていること、である。環境が良くなることは当然必須だが、雇用や地域経済がしっかりしていないと生活が不安定になる。社会保障や福祉が充実しないと格差がある住み難い社会となる。この三要素をうまく合わせた政策、活動を優先させることが重要だ。今号で下村さんが紹介している事例はその典型的なものである。

#### 5 行政、施策の総合化

地域社会づくりにおける行政の役割は大きい。しかし行政は長年縦割りで仕事をしてきた。そのため環境、経済、社会という三要素がバラバラにされて施策が行われている。例えば未だに地球温暖化対応は環境部局の仕事、と考えている自治体職員が多い。それを変革して環境に

も経済にも良い政策、福祉政策だが環境にも良いもの、三要素とも備えた政策、それを実現するには行政組織、予算づくりなどを根本的に変えていく必要がある。

## 6 戦略

個々には優れた政策、活動でもバラバラに行われていたのでは効果が小さい。戦略的な構成を行い系統だった施策、活動を弾力的に行う必要がある。自治体の総合計画、環境基本計画、ローカルアジェンダ 21 などはそのような戦略計画として策定し、実施評価していくものに切り替える必要がある。

## 7 誰でもわかる率先例

地域の人々に、職員に、このような持続可能な社会づ

くりに積極的に参加してもらうためには、誰もが良くなつたとわかる先進的な事例をパートナーシップで実現し、見せていく必要がある。変わるために勇気をだす後押しが必要だ。

### 注釈)

※ 1 正式には国連環境開発会議。このサミットをきっかけとして気候変動と生物多様性の条約づくりと世界的行動がスタートすることになった。

※ 2 地方公共団体とは、行政機関だけではなく、住民、地域産業を含んだまとまりのある地域社会のことです。

※ 3 この 7 つのポイントを先進的に実施している事例紹を含めて詳しく記述した本を環境首都コンテストネットワークと（財）ハイライフ研究所で今秋発刊する予定。

### 解説!

## ヨーロッパ 先進国

## 環境先進自治体の試み

社会的公正を満たしながら環境と経済が好循環する。そんな仕組みをつくってきたまちがヨーロッパにはあります。ここでは、環境を大切にしたまちづくりが持続可能性を高めたドイツのエッカーンフェルデとミュンスター、豊富なバイオマスの活用とそれを支える市場を同時に構築しエネルギーの自立に挑戦するスウェーデンのエンシャビン、そして多様な参画と戦略的なパートナーシップ制度で疲弊しきった市街地を再生させたイギリスのバーミンガムの取り組みを詳しく紹介します。

### 環境を大切にしたまちづくりが持続可能性を高める

## ドイツ・エッカーンフェルデとミュンスター

(文 / 環境市民 理事 下村 委津子)

### ■にぎわうまちの中心部

ドイツの北部、デンマークとの国境近くのエッカーンフェルデ市は、バルト海に面した人口 2 万 3 千人のまち。このまちの中心部はいつも人でにぎわっている。商店がずらりと並ぶ通りには、小さな子ども連れの家族や乳母車を押すお母さんたちが車を気にすることなく買い物や立ち話をしている姿を見かける。また、車いすを利用する人がゆっくりとウィンドウショッピングを楽しみ、老夫婦が散策しながら買い物をしている様子も見かけられる（写真 1,2）。



この商店街とそれに接続する数本の道、延べ約 1300 メートルは全面的に自動車乗り入れ禁止になっているのだ。車が入ってこないことで誰もが安全に安心して過ごせる場所となり、人でにぎわい活気に溢れるメインストリートとなった。車の入ってこない通りはまちなかでさらに延長されている。

### ■「住むに値するまち」をめざす

エッカーンフェルデでは、はじめから中心部の自動車規制の制度があってこのようなまちづくりが可能になっ

たわけではない。今から 30 年以上前は、前述の通り多くの車が通過する主要道路として使われていた。まちを変えたのは当時の市長が「住むに値するまち」をつくるというビジョンをかけ、その実現のための施策を着実に実行してきたからだ。例えば、公共交通であるバス路線を充実させ便利にした。反対に自動車に対しては、まちなかや住宅街での速度 30Km 制限、一方通行や迂回路など、市全域の 70% の道路に何らかの交通抑制をするなど車をうまくコントロールした。そして、自転車を移動手段として使いやすいまちにするための施策を開発した。今では自転車が走れる道は自動車が走れる道路の距離よりも長くなっている。車を持たなくても生涯暮らせるまちづくりをすすめているのだ。このような交通政策が環境保全だけでなく、中心市街地のにぎわいをつくりだし、「住むに値する」まちづくりにつながっている。

### ■広域自転車道ネットワーク

ドイツ西部にある人口 28 万人のまちミュンスター市は、徹底した自転車政策をすすめている。このまちの中心部を通称「自転車のアウトバーン（高速道路）」がぐるりと一周している。これは旧市街地を囲む城壁跡につくられた自転車専用幹線道路で、緑の木立が並ぶ美しい景色の広々とした自転車道を、何台もの自転車が駆け抜けて行く（写真 3）。



まちの中心部に近い便利な幹線道路は、日本であればおそらく自動車を優先する道路になるのではないだろうか。もちろん自動車の幹線道路もあるのだが、それは自転車道のさらに外側につくられている。ミュンスターの重要な自転車政策として「広域自転車道ネットワーク」があり、自転車でどこまでも移動できるまちづくりがすすめられている。

### ■自転車優先のまちづくり

これだけではない。主要な道路のほとんどに自転車専用道が設けられている。自転車のための交通規制が緩和され、自転車優先のまちづくりが明確に示されている。例えば、自動車の場合だと進入禁止や一方通行となっている道路も、自転車なら進入や双方向通行が可能になっている。また、自転車だけが右折も左折もできるT字路や、自転車専用の標識、車より先に青色に変わることで自転車の安全が確保されている自転車専用信号など、あらゆる場面で自転車が優先されている。そして、駅前には3300台以上が止められる駐輪場があり、預けている間に自転車修理をしてもらうこともでき、自転車の洗車機まで設置されている。このようにミュンスターはどこまでも自転車利用者にとってやさしいまちなのだ。

市民の自転車利用をさらに促進するための広報活動にも熱心に取り組んでいる。まちかどには自転車がライフスタイルのあらゆるシーンで活用できることを示すセン

スの良い案内板があり、パンフレットの作成や市民向けイベントなどでも啓発普及を進めている。

### ■バスと自転車でさらに便利に

ミュンスターではバスの利用もとても便利だ。1日乗車券は文字通り24時間使用でき、グループチケットを購入すれば10人まで利用できる。その他いろいろな組み合わせができる複数の運賃割引制度が用意されており、公共交通を利用すれば便利で得になる仕組みがつくられている。もちろんバスには自転車も持ち込み可能だ。つまり自動車で移動すると不便で時間がかかり駐車料金も高くつくが、自転車やバスを使えば便利で早く目的地に行け、しかも安くつくというわけだ。これなら誰でも自動車より自転車やバス利用の優先順位が高くなるはずだ。

### ■しっかりしたビジョンと実現の仕組みあってこそ

このように二つのまちでは、車中心のまちづくりから、人が主役のまちづくりへ転換した。これにより環境面だけでなく、福祉や経済、観光振興などの施策と結びつき、人がいきいきと安心して安全に暮らせる魅力的なまちになった。これはビジョン実現のための施策として、しっかりした仕組みがつくられたからこそ実現できたものだ。日本でも個人の意識に頼るだけに終わらない誘導策が早急に必要とされている。

## エネルギー自立のまち その政策と具体的な実践 スウェーデン・エンシャピン

### ■現実感覚に欠ける日本のエネルギー

持続可能なエネルギー社会とは、いったいどのようなものか。日本の未来予測は、往々にして、技術イメージが肥大している一方で社会システム像が貧困である。「20世紀のアタマで21世紀を想像」した鉄腕アトムのような未来像のようなものだ。「旧日本軍の失敗」で指摘されている日本社会に共通する要素として、普遍的かつ規範的であるべきリーダー層の思想が恐ろしく貧困である上に、リアルタイムの現実感覚に欠けているからであろう。

### ■地域エネルギーシステム

手がかりとして、エンシャピン市の地域エネルギーシステムを紹介したい。歴史的に地方自治体がエネルギー供給を担ってきたスウェーデンでは、現在、100を超える地域エネルギー事業が存在している。そのほとんどが電力供給および地域熱供給を行っており、ここ20年余りにわたる木質バイオマスへの燃料転換の主役を担ってきた。

制度面では、1990年代初頭に導入された炭素税・イオウ税・NOX課徴金からなる「環境税3点セット」がバイオマス利用を経済的に比較優位とし、とくに地域熱

(文 /NPO 法人環境エネルギー政策研究所 所長 飯田 哲也さん)

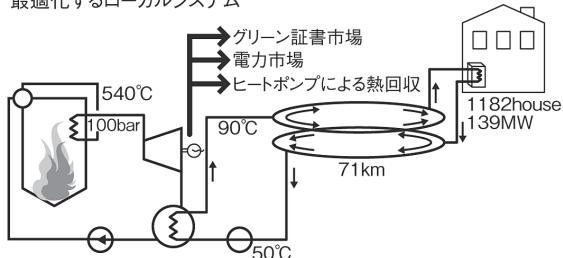
供給での普及の後押しをした。

地域の側では、エンシャピン市など主要な地点で、木質バイオマスのコジェネレーションを用いて電力と熱が生み出しており、地域熱供給として用いており、これが多重の社会システムからなる巧みな市場構造なのである。

### ■スウェーデンで進みつつある持続可能なエネルギー 地域社会

地域熱供給を取り巻く「市場」には、燃料の木質バイオマス市場、気温によって時々刻々需要が変わるローカルな温熱市場、同時に生み出される電力の売り先となる完全自由化された電力市場(1996年～)、そして2003年に導入された自然エネルギー電力証書制度で生まれたグリーン電力証書市場の4つがある。

#### スウェーデンの多重の地域エネルギーシステム バイオ市場・電力市場・熱市場・グリーン証書市場を 最適化するローカルシステム



しかも、自前のヒートポンプを使えば、電力市場から温熱市場へは交換可能となる。時々刻々と変わる需要や気温、電力市場価格などを睨みながら、この4つの市場を通じた利益の最大化が行われているのである。なお「入口」の燃料は、環境税によってCO<sub>2</sub>の最小化が織り込まれ、地域で生産される木くずや燃料作物などの木質

バイオマスの大きな「出口」市場となっている。

日本で「未来エネルギー」といえば、核融合や宇宙太陽光、燃料電池などの技術だけが肥大した空想的な未来像が優先する。しかしスウェーデンの地域社会では、健全で現実的な「持続可能なエネルギー社会」が徐々に姿を現しつつあるのだ。

## Column :

### ●エンシャピン市のバイオマス熱電併給所……

スウェーデンのエンシャピン市は、首都ストックホルムから鉄道で40分、人口2万人の町である。この町の電気と暖房は100%バイオマスによって供給されている。

バイオマス発電の燃料は木材、すべて地域でまかなわれている。木材をチップ状にしたもの燃やしてお湯を沸かし、蒸気でタービンを回して発電する。お湯は地下に埋められたパイプを通して各家庭に送られている。

従来、発電したものをまた熱に変えることにより、エネルギーの無駄が生まれていた。その無駄をなくすのが、このコジェネレーションというしくみである。

同時に、バイオマス発電は、エネルギーの自立とともに、

地域内での雇用も生み出した。石油に払っていたお金を林業に携わる人に払えるようになったからである。

日本と同じように、石油資源の乏しいスウェーデンでは、1970年代にはクリーンともてはやされた原子力発電所が相次いで建設された。ところが、1980年代には旧ソ連のチェルノブイリの原発事故を受け、国民投票により「2010年までに12基の原子炉すべてを廃止する」という議会決議がなされ、すでに2基の原発が閉鎖されている。また2006年には、バイオマスの成功をベースにして、「2020年脱石油国家戦略」を定めている。



## パートナーシップでつくる地域の未来 英國・バーミンガム

(文 / 龍谷大学 法学部 教授 本会 理事 白石 克孝)

### ■変貌を遂げた重工業の街～バーミンガム

バーミンガムは英国第二の都市である。18世紀には産業革命を推進する都市として「世界の工場」英國を現出させた。20世紀には英國自動車産業の中心地として発展するなど、長く重工業の街として栄えてきた。

1960年代以降、産業構造の転換や炭坑の閉山、工業製品の市場競争力の劣位などによって、バーミンガムは経済的困難に直面し、住宅の郊外化も相まって、都心地区の衰退は誰の目にも明らかな状態に陥っていた。戦後の都市再開発事業によって、バーミンガムはヨーロッパの都市としては例外といわれたほど、自動車交通と道路整備に力点を置いた都市整備が実施してきた。これがまた都心地区の衰退に拍車をかけたのである。

10数年前に初めてこの街を歩いたとき、荒廃都市の印象を持たざるを得なかった。ところが現在では、都心地区は見事に魅力的に変貌を遂げつつある。かつての自動車優先のまちづくりから歩行者優先のまちづくりに転換したからである。荒れ果てた運河はすてきなリバーオークとなり、高架道路で覆われていた駅前は道路撤去で見事な商業施設が並ぶモールとなった。



以前高架道路だったバーミンガムの都心モールに人があふれている

### ■多様な担い手が市街地を活性化

ただ、バーミンガムの都市経済再生を担ったのは大手の商業資本だけではない。中心市街地の一角には中国の人が商店を営む「チャイニーズ・クォーター」というチャイナタウンが、少し離れたインドやパキスタン系の住民が多く住むエリアでは、「バルチ・トライアングル」とよばれるパキスタン料理店がひしめく商業地が生まれている。アジア系の住民比率が高いバーミンガムの特性が見事にいかされている。

このように、数の上では少数の移民層をはじめとして、多様な担い手が市街地で活躍することで都市経済の再生が行われているのである。

### ■都市再生を支える地域パートナーシップ制度

こうしたまちづくり転換を可能にしたのは、バーミンガム市当局の都市開発政策の転換であった。そしてそれを強力に推し進めているのは、英國で進められている地域戦略パートナーシップ(LSP)、地域合意(LAA)、地域盟約(コンパクト)の3種の地域パートナーシップ制度である。

地域盟約では、地方政府、非営利組織、住民組織が地域パートナーシップを結ぶことを確認する。地域戦略パートナーシップによって、文字通り多様な地域コミュニティの参加を得ながら、地域の「持続可能性戦略」を策定・実施をしていく。地域合意では、「持続可能性戦略」

を実現するために、地方政府や政府の出先機関さらには民間も含めた地域財源の方向づけを行う。

パートナーシップ型の地域制度によって、バーミンガムの地域再生に草の根からの息吹を吹き込んでいる。持続可能な社会形成のためには、多様性を尊重した住民参加が欠かせないのである。

### Column :

#### ● 地域戦略パートナーシップ……

地域戦略パートナーシップ (Local Strategic Partnership) は、地域の行政サービスをより効果的にするために、多くの団体が協力しあう枠組み。地方自治体、警察、企業、ボランティア団体や住民団体などが連携することで、地域生活を充実させることができたり、地域に必要とされる目標を立てたりすることができる。

#### ● 地域合意って……

地域合意 (Local Area Agreement) は、より柔軟な行政運営ができるようにして効率的な行政サービスを提供できるように、地域の政策目標について中央政府と地方公共団体が合意すること。合意により、目標を達成するために自由に使ってよい補助金が出たり、政府への報告や諸手続を簡素化することができたりするようになる。地域の目標を定めるときには、地域戦略パートナーシップを活用するよう定められている。

#### ● 地域盟約……

地域盟約 (Local Compact) は、住民団体 (エスニシティ団体を含む) とボランティア団体 (日本のNPOにあたる) が、地域の将来の発展に大きな役割を果たすことを確認し、地方政府がそれら民間組織と協働していくことを約束する文書。地方政府、政府地方出先機関、住民団体とボランタリー団体の代表が署名をする形で発効する。

おわりに

### 持続可能な地域社会への提言

## 成功事例から見えてくる日本社会の課題

(文 / 京都大学 経済学部 大学院経済学研究科 地球環境学堂 教授 本会 理事 植田 和弘)



地域から持続可能な社会をつくる。このことが、世界の都市やコミュニティで課題とされ、現実に取り組まれている。しかも注目すべきことは、ドイツ、スウェーデン、英国の事例紹介から明らかのように、端緒的ではあっても「成功」と呼ぶことのできる事例が出てきていることである。もちろん日本でも様々な取り組みがなされているのだけれども、そうした取り組みを「成功」事例と比較してみた場合、汲み取るべき教訓、日本で活かすべきことは何であろうか。

いずれの「成功」事例をみても、持続可能な地域社会のビジョンや目標は何か、どのような方法や手段によって設定されたビジョンや目標を実現していくか、についてよく考えられている。大切なことは、「ビジョンや目標」も「方法や手段」も、先行事例に学びつつ、地域住民が自ら創りだしていることである。つまり、持続可能な地域社会づくりにとって、何よりも重要なことは、これら

のことを誰がどのように推進し、担っていくのかということである。

持続可能な地域社会をつくりあげていくのは単なる行政の仕事ということではなく（行政の役割は決定的といつてもいいほど大きいのであるが）、政治プロセス、経済プロセス、社会プロセスなのである。持続可能な社会づくりをめざす地域ビジョンを構想し、その具体化とマネジメント、実現のための手法を開発することを地域住民が主体的に担うプロセスが不可欠である。このことは必然的に、まちづくりの核になる予算過程と計画過程のあり方およびその改革方向を論じることになろう。このための討議が沸き起こること、それが持続可能な地域社会への出発点であり、着地点と言えるかもしれない。それこそ持続可能な社会を実現する（真の意味での）地方政治であろう。

2008年度も環境市民は持続可能な社会をめざし、エコシティー創造のためがんばります！

### 2008年度のプロジェクト

#### 1 第8回

#### 日本の環境首都コンテスト

NGOネットワークをつくり、2001年度から毎年開催しているコンテスト。今年は8月に公募開始をめざし、現在質問内容の改善に取り組んでいます。めざせ、参加自治体数アップ！

#### 2 持続可能な地域社会づくり モデル自治体共同調査研究プロジェクト

2004年度から、岐阜県多治見市と共同で取り組んでいます。現在までに市の課題を洗い出し、市民参加の検討会議を月1回実施中。9月頃開催する中間発表会で出された市民意見を踏まえ、市に対する最終提言書を作成します。

#### 3 環境首都をめざす自治体 全国フォーラム in 飯田

持続可能な社会をめざし、地域は何をめざし何をすべきか。環境首都をめざす自治体首長とNGOメンバーが長野県飯田市に集まり討論します。成果を提言として発信します。

#### 4 環境首都コンテスト地域交流会

環境首都コンテストに関わるNGO、自治体、地域住民が各地の先進事例に学び、交流します。今年度は東北から九州まで7か所程度で開催予定。

#### 5 持続可能で豊かな地域社会の総合的ビジョン・自治体環境戦略モデルの提案

上記のエコシティー活動を総括し、最先端の情報・知見を活かして「持続可能で豊かな地域社会の総合的ビジョン・自治体環境戦略モデルの提案」を行います。(2011年) NGOメンバーや有識者、自治体職員などをメンバーとし、月1回研究会を開催します。

今回の特集は、編集部の風岡 宗人、千葉 有紀子、東 広之、有川 真理子が担当しました。



**環境市民** TEL)075-211-3521 FAX)075-211-3531  
 IP電話) 050-3581-7492  
 E-mail) life@kankyoshimin.org  
<http://www.kankyoshimin.org/>

**KYOTO**

● 温暖化待ったなし！ 環境市民の果たす役割を考えよう  
**第7回 NPO法人環境市民 通常社員総会**

京都議定書の第一約束期間がスタートし、温暖化防止は待ったなし。このような状況の中で、環境市民はどのような役割を果たし、活動を展開していくのか、総会を機会に会員、ボランティアの皆さんと一緒に考えたいと思います。年に一度の会員・ボランティア交流の機会です。みなさんの参加をお待ちしています。

とき：6月21日（土）

午後12:30受付開始、午後1:00開始

ところ：ハートピア京都の第4・第5会議室  
 （京都府立総合社会福祉会館）  
 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町  
 375番地

〈内容〉

○第1部 通常社員総会（午後1:00から2:00）

（議題）2007年度事業報告および決算報告の承認、  
 2008年度事業計画および収支予算の報告など

○第2部 理事リレートーク

「持続可能な社会を実現するために環境市民の活動の役割」  
 （午後2:10から3:10）

持続可能な社会を実現するために、環境市民の活動はどんな役割を果たしていくことができるのか。理事から話題提供し、会場のみなさんと意見交換をするフロアトークを予定しています。

○第3部 2008年度プロジェクト紹介

（午後3:20から4:40）

今年も自治体の環境施策推進や企業のCSRへの働きかけを行うと同時に、エコロジカルな住まいについての情報発信、お祭りのエコ化、自転車ツアーやラジオやネット、ニュースレターを通した情報発信など多様な活動を展開します。環境市民の活動を具体的に知りたい方、参加してみたい方におすすめです。

○エコ交流会（午後4:40から）

エコ＆スローフードでお待ちしています。ぜひお気軽にご参加ください。

参加費：無料、交流会はカンパ歓迎。

備考：どなたでも参加できますが、通常社員総会で表決権を有するのは「社員」登録された方のみです。



昨年の総会終了後の交流会では、玄米おにぎりと手づくりの水無月、国産小麦を使ったクッキーなど美味しいエコフードで交流会を行いました。

● わいわい ウキウキ 1Dayボランティアデー

エコな話題でわいわいおしゃべりしながらニュースレターの発送作業をします。6月30日に紹介する話題は「玄米を食べよう」。玄米は白米にはない栄養素がいっぱい。玄米の食べ方や魅力についてご紹介します。

とき：6月27日（金）午後5:30から8:00頃まで

6月30日（月）午後2:00から7:00頃まで

ところ：環境市民 京都事務局

備考：予定時間を過ぎて来られる場合は予めご一報ください。講演ではありませんので、作業をしながら話をきいたり話したりする状況になることをご了承ください。

次回発送日……

7月30日（水）午後5:30から8:00頃まで

7月31日（木）午後2:00から7:00頃まで

● 31日はエコロジカルな住まいを考える自然住宅研究会のメンバーで、今回「住まいのエコ Q&A」(P10、11)を書かれた一級建築士でもある岡本成貴さんが、エコロジカルな住まいづくりの質問にお答えします。

環境市民  
東海事務所  
TOKAI

TEL・FAX) 052-521-0095  
IP電話) 050-3581-7492  
E-mail) tokai@kankyoshimin.org  
<http://www.kankyoshimin.org/tokai>

## ●環境市民自然環境樂校 ふりかえりしてみま専科

かいしょ  
海上の森に降った雨  
が矢田川（庄内川）に  
流れて、藤前干潟へ4  
回にわたり水の旅をし  
ました。これまでに体  
感したこと。これから  
どんなことができるの  
か？ ふりかえりをし  
ます。お愉しみに。



環境市民東海事務所のウェブサイトより  
自然環境樂校の様子

とき：6月7日（土）午前9:00から午後3:00

現地集合解散

ところ：鶴々亭 名古屋市昭和区鶴舞公園内

定員：20人

参加費：400円（保険・資料代含）

申込み：必要

申込方法：お名前・連絡先を明記の上、件名は「なごや  
環境大学申込」として、下記メールアドレスにお申し込  
みください。[tokai@kankyoshimin.org](mailto:tokai@kankyoshimin.org)

●申込された方に集合場所や持ち物などをご連絡いたします。

## 旬のபுத்தமே

あなたの心に季節の窓を。  
旬の話題と暮らし方のヒントをお届けします。

### vol.36 父の日にエコグッズを送ろう

いつも家族のために働いてくれるお父さん。日ごろの感謝  
と、「一緒にエコについて考えよう」という思いを込めてマ  
イ箸やタンブラーを送ってみてはいかがでしょうか。外食の  
たびに割り箸を使い、喉が渴いたらペットボトルのお茶、買  
い物をしてはレジ袋をもらう。仕事などで外にいる時間が長  
いとつい“使い捨て商品”に頼りがちになります。最近では  
伝統技術を駆使した丈夫で長持ちするおしゃれなお箸をよく  
見かけますし、タンブラーも形・柄の種類が豊富です。お父  
さんに似合う、素敵なお父さん用のエコグッズを送れば、きっと毎日大  
に持ち歩いてくれるのではないかでしょうか。

（ニュースレター編集部／安江 晃子）

環境市民  
滋賀事務所  
SHIGA

TEL) 077-522-5837  
E-mail) cefshiga@kankyoshimin.org

## ●彦根の街歩き

彦根は古い城下町であり、彦根城を有する観光地でもあります。これまで、長浜が黒壁をもとにした観光で成功をおさめ、影が薄い存在でしたが、ここにやんて有名になり、江戸時代や大正時代の風情をもつ街並みでさらに観光客を呼びうとしています。これらの古い歴史的な街並みを訪ねます。

とき：6月22日（日）午前10:00から12:00

ところ：彦根市街

集合場所：JR彦根駅

集合時間：10:00

申込み：必要

申込み〆切：6月15日（日）

備考：雨天決行



## ミーティングカレンダー

● いずれも京都事務所で行います。ぜひご参加ください。

2日(月) CSRで就職プロジェクト 午後7:00から

5日(木) 自転車チームチャリ民 午後7:00から

10日(火) ニュースレター編集部 午後7:00から9:00



## 講演のご案内

● お近くにお越しの際は  
ご参加ください。  
詳しくは京都事務所まで。

10日(火) 大阪市/CSR

11日(水) 京都市/温暖化について知ろう

12日(木) 佐賀市/持続可能な社会

※一般参加はできませんが下記の講座にも講師を派遣しています。

8日(日) 久留米市/地球温暖化防止

9日(月) 神戸市/地球温暖化防止とグリーンコンシューマー

# エコ 住まいのQ&A

エコな住まいについての質問に答えます！

エコ ロジカルな家に住みたい！ でもどうしたらいいの？ そんなお悩みをお持ちの方！ エコロジカルな住まいづくりをすすめる「自然住宅プロジェクト」が、隔月でみなさんからの質問にお答えし、建築関係者の専門的な意見や暮らし方のヒントを紹介する「住まいのエコQ&A」を今月からはじめます。

#1 記念すべき第1回目は、会員のAさんからの質問です。

## 「結露と断熱材」

A. お答えします！

結露は空気中に含まれる水分が、室内外の温度差が大きくなることによって空気中に含みきれず、水滴など目に見える形になって現れる現象です。通常は、窓付近が最も室外の温度に近く一番結露しがちな場所です。しかし、家具も置いてない部屋の隅のほうが結露するとのことでした。

Q. 家の結露がひどいんです。ある部屋の角は家具も置いていないのに、冬はもう水滴がふきだしている始末……。漏電も心配です。

### 考えられる理由

- ① 窓ガラスに**二重ガラス**<sup>解1</sup>などの断熱処置が施されている
- ② **断熱材入りの外壁材**<sup>解2</sup>であるもしくは、断熱改修が施してある
- ③ 該当部に断熱材が無い……の順に考えることができます。

ため、断熱性能の低い壁に移動している。

### 解決策

#### 自分ででき、費用もかからない方法

- 対策1 部屋の換気をこまめにする
- 対策2 暖房器具を窓辺に置く

ストーブなどの暖房器具を窓際に置くと、窓付近の冷たい空気が中和され、部屋全体に温かい空気を循環、室内外の温度差を少なくする効果があります。

#### 費用はかかるが高い効果が得られる方法

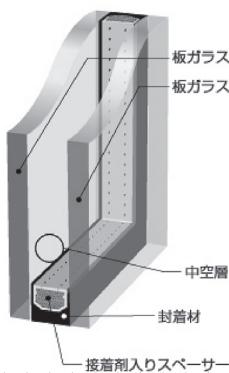
一般的に結露というと窓ガラスの場合が多いので**窓ガラスを断熱仕様**<sup>解3</sup>に替えるのですが、今回、結露しているのは壁なのであてはまりません。

- ▼ 対策3 局所的に部屋を断熱リフォームする(部分改修)
- ▼ 対策4 家全体を**断熱リフォーム**<sup>解4</sup>する(全館改修)  
……の順に高効果、高コストとなります。

### 解説

#### 解1 二重ガラス（ペアガラス）とは？

二枚のガラスの間に乾燥した空気の層を封じ込めたガラスのことを言います。一般的な透明ガラスの2倍の断熱性能を持ちます。複層ガラスの機能のポイントは、二枚のガラスの間に乾燥空気を封入した「中空層」にあります。この中空層の中の空気によって、いわばダウンジャケットのような断熱効果が生まれるので、住まいの快適さを損なうさまざまなお困りごとを解消できます。



サイディングと呼ばれる金属製の外装材に多く、外部側の表面材に金属製の板、芯材部に断熱材を使用し、裏面材を合わせた一体成型品です。裏面材をそのまま化粧材として内部の仕上げに使えるものや表面材がレンガタイルのものもあります。また、遮音性能も期待できます。同様の構造の屋根材もあります。ちなみに、サイディングとは外壁に貼る同一規格の板状の外装材の総称です。

#### 解3 断熱仕様の窓ガラスとは？

- ・ペアガラス……解1の説明例に加えLOW-Eと言われる、さらに高性能のものもあります。
- ・専用フィルムやパネルを貼る
- ・熱線吸収ガラス……板ガラス組成の中に微量の鉄・ニッケル・コバルトなどの金属成分を加えて着色されたガラスで、プロンズ・グレー・グリーンの3種類があります。日射熱を吸収し、ガラスを透過する熱の量を抑えます。

#### 解4 断熱リフォームとは？断熱材を入れること以外にもいろいろある？

断熱リフォームの目的は、断熱を強化し、室内と屋外の温度差を断熱層で緩和することです。建物の温度差を無くすことにより室温のむらをなくし、外壁側だけでなく間仕切壁周辺の結露を防止し、急激な温度差による身体的ストレスをなくすことで、深刻な病気を未然に防ぐことができます。さらに建物を腐食や害虫から守り長持ちさせることにより、大切な住宅の資産価値を高めることを期待できます。環境保全の視点では家の断熱性能を高めることにより、冷暖房エネルギー効率を上げることが現在の建築界でのスタンダードになります。

## 質問募集！

……みなさんからのご質問、ご意見をお待ちしています。このコーナーはウェブサイトでも紹介しています。  
質問、ご意見はメール（ecojojutaku@kankyoshimin.org）か京都事務局まで郵送、FAXでお寄せください。

(文/自然住宅研究会 岡本 成貴)



### その後の経過…

Aさんは回答をみて、考えられる理由①②はあてはまらず、換気をしても局所的に結露していたため、断熱材が無いのではないかと思ったそうです。結果的には、Aさん方では大家さんによる修繕がなされました。修繕経過の中で判明したのですが、やはり壁内の断熱材が少なかったことが原因だったそうです。前述の考えられる理由3にあたります。修繕内容は壁の一部を1.5m角くらい開けて断熱材を入れて、壁のボードを貼り直しクロスの補修をしました。これは前述の対策4にあたります。作業後はしばらく接着剤の臭いが強く、シックハウス症につながるのではと思ったそうです。

結論として、このようなケースで注意すべきは、部分的に断熱性能を高めることによる性能の低い所への結露の移動です。例えば、今回は行っていませんが、窓ガラスを断熱仕様のペアガラスなどに取り替えた場合は、次に冷えている押入内部や壁に移動したりするので注意が必要です。

断熱材はそもそも夏の暑さ、冬の寒さを防ぐため

に壁・屋根や床下・天井に入れて建物内の温度差調整をするためのものです。その種類はPET再生材や蛍光灯ガラス再生材や土に還るものなど色々あります。価格のみで判断せず、グリーンコンシューマーの視点から選んでいくことが重要です。羊毛や植物繊維からできた自然素材ではあっても、化学処理している製品などもあるので注意が必要です。

あまりない話ではありますが、建築基準法上は断熱材が入っていないなくても違法ではありません。Aさん宅のクロスを貼りかえたときの臭いの問題は不明ですが、こういった際にクロスを自分で剥がすと建材中の有害物質が発揮する危険がありますので安易な改修は注意が必要です。貼り替えるのならば**布クロス**<sup>解5</sup>をお勧めします。その気になれば比較的安価に自分でできます。以前に自然住宅研究会が発行したエコリフォームの小冊子に詳しく書いてあります。ただ、残念ながら完売になりましたので環境市民事務局にお問い合わせください。

#### 解説

##### 解5 なぜ布クロスがおすすめなのか？

- ・通気性・調湿性がある
  - ・吸音性がある
  - ・（ものによりますが）薬品処理をしていないので健康を損なう恐れが少ない
  - ・非常に感覚的なはなしですが、見た目や感じが良い
- などが挙げられると思います。私自身もクロスを使用の際は布クロスを標準としています。

エコロジカルな修繕をするための工夫は他にもあります。

Aさんの話によると、今回は、不動産業者が手配した工務店が補修したとのことでしたが、この場合でも、工務店を変えるように働きかける方法があります。まずは、大家さんに修理にかかる予定額を出してもらいます。その上で、その金額を自分の納得のいく修理の費用にあててもらうよう折衝してみる、という方法です。このようなケースでは、概して工務店のいうがままになりがちなので、「知り合いの設計士に確認したところ○○がよいのでは、とアドバイスされた」「自分は素人なので、知り合いの設計士に委ねる」といえば往々にして状況が変わることがよくあります。

結露のしくみや断熱材、断熱のリフォームの説明をしてきましたが建築の設計や工事でできる範囲の工夫でしかなく、本来のエコロジカルな結露防止策は窓を開けて換気をすることや、もう一枚着こんで室内の温度差を調整するようなことだと思います。シックハウスのことについてあまり触れませんでしたが、現在は化学物質の被害よりカビによる被害の方が大きくなっています。また、温度差による高齢者の住宅内事故も増加しています。

結露をなくしたり、温度差をなくす工夫をすることは環境問題のみならず健康問題にも有効です。健康問題と環境問題とは密接につながっているのです。

(参考文献) 日本住宅新聞2005.1.15号記載記事編集 南 雄三  
日本板硝子 住まいの窓ガラス情報サイト  
<http://www.glass-wonderland.jp/index.html>

外断熱 ドットコム  
<http://www.sotodannetsu.com/index.htm>  
有限会社 木創  
<http://www.chuokai-akita.or.jp/mokunet/mokusou/>

Seminner



## もっと自転車が好きになる 2008 春のサイクリングツアー

**4**月12日の土曜日、多くの人に自転車の楽しさを知ってもらうとともに、走る技術とマナー向上をめざした春のサイクリングツアーを京都市内で実施した。（文/自転車チームチャリ民 二松 康）



松尾大社前にて

### ●蛇塚古墳を見学

うららかな春の日差しに誘われて12人の参加者がJR二条駅①に集合。本格的なサイクリストスタイルにロードランナー車の方も数名おられた。はじめに、スタッフからは、「今日は初心者がおられますのでご不満が出るかもしれませんのがゆっくりまいります」とのことわりが出た。申込者の一人の連絡がとれず、出発を遅らせ10時半にスタート。まずは、御池通を西進し、地下鉄新駅太秦天神川をへて、聖徳太子建立の七大寺のひとつであり京都最古の寺院である広隆寺前②から太秦の住宅街へ入り、蛇塚古墳③に到着した。たまたま、ご近所の方の好意でフェンスの鍵が外され、中に入ることができた。石室が大きく、その大きさは明日香村の舞台古墳を上回るのでは、と一同感嘆した。

### ●自転車走行のコツ

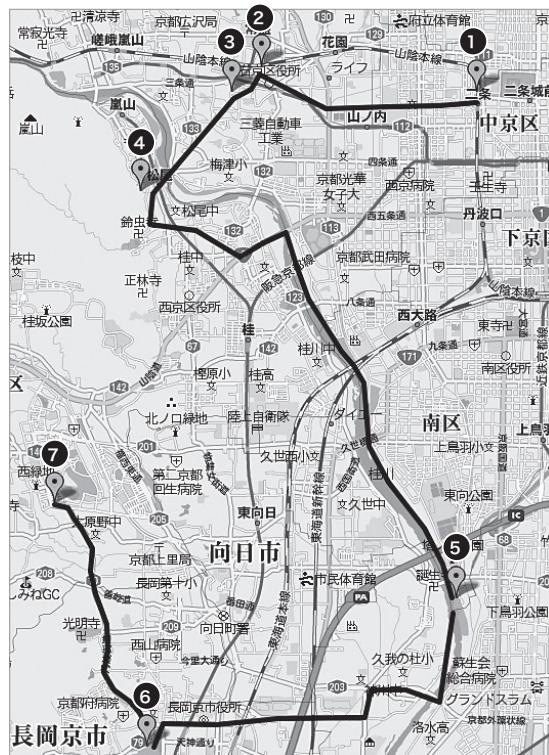
走りながら、楽しく、安全に自転車で走るコツについても伝えた。安全を確保するための道を曲がる際の手信号の出し方、ギアチェンジのタイミング、平坦な道、緩い下り道は足をとめない（こうすると疲れない）、ブレーキをかける際は、後輪のブレーキでスピードを落として前輪で停止する、走行は車道の左端……など。参加者に、実践しながら覚えてもらった。

蛇塚古墳からさらに南下して、日本最古の酒造の神が祭ってあるとされる梅宮神社の北側から京都の西の地域を流れる桂川の堤防に出て、京都最古の神社とされ、日本第一の醸造の祖神としても有名な松尾大社④で小休止した。そこから桂大橋を経て自転車道に入り、桂川緑地運動公園⑤を過ぎたところで昼食休憩をとった。

### ●マニアックな自転車談義

自転車道から河川敷に降り芝生に車座になった一行は、それぞれに持参した弁当を広げ、サイクリング談義に花を咲かせながら楽しい団らんのひとときを過ごした。自転車の部品やメーカーがどこかなどマニアックなマイカー自慢（当然自転車）や小径車の優劣比較、「あの坂を何段（ギアの切り替えのレベル）で登った」などのエピソードを交えながら、好みのサイクリングコースのことなど賑やかな会話が続いた。

昼食後は自転車道を南下して羽束師橋を西進し一路長岡天神⑥へ、名残の桜をながめながら八条池に架けられた木製の遊歩道の広場でしばし歓談し、記念の写真撮影を実施した。本来はここで解散の予定だったが、相談の結果、予定を変更して北上し、洛西ニュータウン⑦まで走り解散となった。さらに有志数人が竹林公園を見学し、今回のサイクリングツアーを無事終了した。走行距離は約40kmだった。



Google マップより作成



# 白石 克孝

## 環境市民との出会いではじめた エコシティ研究

### ●環境市民との出会い

環境市民を知ったのは、当時代表であった浅岡美恵さん（現NPO法人 気候ネットワーク代表）を通じてでした。はじめて一人の参加者として会合に参加したのは、ドイツのミュンヘンから都市計画局長のヴァルター・ブーザーさんを講演者としてお招きした最初の会合の時でした。ミュンヘン・フォーラム<sup>\*1</sup>というパートナーシップ型組織による都市計画への市民の関与が印象的でした。

その時期には、地域開発のあり方、NPOなどの重要性、といったテーマについて研究していたこともあり、エコシティの実現について関心を抱いていました。環境市民が内部でエコシティ研究会を立ち上げるので、参加してもらえないかという現代表の枚本さんのお説があって、環境市民の具体的な活動に関わることになりました。

### ●エコシティ調査

エコシティ研究会の調査と研究が、現在の日本の環境首都コンテストに結実していくのですが、最初の大きな取り組みは、武生市（現、越前市）と環境市民が協働してのドイツとスウェーデンの現地調査ならびに市長交流の実施でした。スウェーデン、ベクショーレ市での化石燃料ゼロの取り組み、フライブルクの包括的アプローチ<sup>\*2</sup>など、1990年代後半のヨーロッパの取り組みは活き活きしていました。それは現場レベルでの改善とエコシティづくりというビジョンとがストレートに結びついていたからです。勃興期にむかう時に特有の熱気を感じることができました。

海外現地調査というと、「私も参加したいな」という反応がよく

返ってきます。現地とのアポイントメントを取ること、そして良い調査にすることは、それほど容易ではありません。テーマの共有、ギブ・アンド・テイクの関係、人間的な信頼の関係、日本でどのように活かされるのかという見通し、専門的な知識、こういったことがないと先方は忙しい時間を割きたいとは思わないものです。現在も私は年に何度か内外の現地調査を実施していますが、環境市民の最初のエコシティ調査は、こうしたフィールド調査の基本を明確に意識させてくれました。私の環境市民への信頼はこの調査旅行で生まれたといってもいいと思います。

### ●海外調査の楽しみ

海外調査には二つの楽しみがあります。知らない場所の発見と食べたことのない食事です。

衰退地域再生や環境プロジェクトの現場は、普通観光では行かない場所が多いのです。現地に詳しい方の案内で、観光では分からぬその国の色々な顔が見えてきます。多くの場所を訪れるうちに気がついたのは、経済的に厳しい地域でも、落ち着いた地域と荒廃して不安を感じる地域とがあることです。社会の力があるかどうか、住民が社会疎外されていないかが、この差を生み出しているというのが私の結論です。

日本以外の国では、夜に会合をいれることはできませんので、夕食は外でとことになります。食事がまずい国でも、必ず現地の食べ物とお酒をとるようにしています。たとえば欧洲での伝統食をみると、物流が悪かった時代に、いかにしてバランスのある栄養をとろうとしていたかがわかります。そしてエコクッキングである伝統食が現代では高くつくことにも実際に現地で食べることで気がつくのです。

しらいし・かつたか……環境市民理事、龍谷大学法学部教授。1957年愛知県生まれ。名古屋大学法学部卒、名古屋大学助手を経て、1988年より龍谷大学助教授。1999年より龍谷大学法学部教授として現在に至る。専攻は行政学、公共政策。各国の地域政策やパートナーシップの動態、持続可能な地域づくりについて研究を進めている。

### ●先進事例とは何か？

皆さんは都市政策の「先進的な事例」という言い方を聞くとどんなことをイメージされますか。

環境を優先した施策を実施していることでしょうか。行政が率先して優れた施策を実施していることでしょうか。市民参加によって物事が進められていることでしょうか。

私の評価の物差しは、環境負荷を減らしているか、温室効果ガスの削減効果をあげているのか、といったことについて具体的に目標を定め、それに向かおうとしているかです。個別政策が面白いとか、こんな人たちが頑張っているとか、一つひとつの事柄に焦点を当てて意義があったのは過去のことであり、現在は全体としての成果が問題なのです。環境首都コンテストの意義はここにあります。個別の努力が全体としての成果に繋がるような仕組みについて、これからも研究と実践を積み重ねていきたいと思っています。

#### ※1 ミュンヘン・フォーラム

1968年に設立された都市計画にかかる意見調整機関で、政治家、行政、土地所有者だけでなく、市民と地元メディアが参加できるようにした。常設機関であり、その運営に必要な経費（常勤職員の給与および事務所経費）の75%を市が負担している。

#### ※2 包括的アプローチ

政策を個別バラバラに打ち出して取り組むのではなく、全体的な地域の未来図を描いて、様々な政策をリンクさせてその実現を図ること。



# みどりのかわらばん

編集／ニュースレター編集部 角出 貴彦 風岡 宗人

読者×読者、読者×環境市民をつなぐコーナーです。  
ご意見・ご感想など、お待ちしています。



## みどりの特派員便り

吉家 裕明さん (北海道浜中町 町民課 環境政策係長)

10年ほど前に、環境市民が京都の西山に所有する山小屋の整備や炭焼きの準備を手伝わせていただいた際に活動内容に共感して入会した次第です。1981年から一貫して地元の産業である酪農業の基盤整備事業（畑、道路、水道など）の仕事をしてきましたが、昨年4月に異動したのを機に環境問題、特に「レジ袋」問題に取り組みました。

レジ袋削減により環境意識を高め、安心な食品を提供することで、町の農業と漁業の産物に新たに付加価値をつけたいと考えています。6月末に「レジ袋削減推進委員会」を立ち上げて有料化による大幅削減をめざすことを決定し、浜中町内全ての小売店で取り組むシステムで4月1日から実施しております。レジ袋代金は「あなたの環境意識」と

して、代金箱に任意の金額を買い物客が直接入れる方法で、クレームやトラブルなどは一切なく順調に辞退率が増加しております。人口が約7000人の小さな町ですので地球温暖化阻止には少しの力にしかなりませんが、レジ袋をきっかけに環境意識の高い住民が一人でも増えればよいと考えております。



レジ袋代金を入れる箱。  
地球環境基金から100個寄付を受けた。

## (( インフォ@エコ ★新コーナー★ )) 環境に関するオススメの本、映画、音楽などをご紹介します。

オススメ!『LRTと持続可能なまちづくり—都市アメニティの向上と環境負荷の低減をめざして』

青山 吉隆・小谷 通泰 編著 学芸出版社 4200円+税



待ちに待った本というかは、少し大きさ。この本は、15人の執筆者により、世界の各都市で、今なぜLRTが注目されているかに始まり、これからLRTの可能性へと展開し、豊富な事例とともに読む者の期待をふくらます。最後はまちづくりへの提言で締めくくる。

昨年秋、京都では大規模な交通実験が行われLRTの導入も近い、と報じている新聞もあったが、本当のところ、どうなのだろうか。クルマ社会から

抜け出し、公共交通を再生するためにLRTが持つ可能性をこの本は探っている。

私たちは常に現実を見極め、先進的事例に学ぶ必要があると思う。多くの事例を見ると問題点も利点も見えてくる。京都でLRTが実現するかどうかはまだわからないが、この本を見ると、実現した後の街並みとの調和や、生活の便利さに対しての期待もどんどんふくらんでいく。

(ニュースレター編集部 / 千葉 有紀子)

環境共育チームSKIPの環境プログラム「エコファイターショー」をモチーフとしています。

## SKIPの! エコファイターショー劇場

vol.13



イラスト:かわみん

## みどりのかわらばん

つげがる・  
ひろげる

ニュースレターモニター、また読者の方からのご意見に  
編集部がお答えします。

環境市民と出会った約6年前から、ニュースレターは欠かさず目を通しています。5月号特集は環境首都コンテスト。各種データや各自治体の先進事例の紹介はまとまっており、読みやすかったです。ただ、環境首都コンテストを運営したスタッフの感想や自治体職員の話がなかったのは少し寂しく感じました。環境市民は関わる人びとがいてこそそのNGO。携わる

人が見えるような編集を徹底することが、どこにもないニュースレターを生むと思います。

(飯田 康道さん / 環境市民会員 名古屋市在住)

編集部メッセージ:紙幅の関係で難しいところもありますが、コンテストを支えるスタッフ40人のがんばりがお伝えできるよう工夫します。ありがとうございました。

### 新会員の方々・寄付

4月12日から5月14日

#### 新会員

荒木 和代 壱井 佑三子  
上野 ひろみ 野中 正子  
江川 みゆき

#### 寄付

秋本 園 昌和  
岸田 夏絵 堀 孝弘  
北村 ますみ 東新住建株式会社

(五十音順敬称略) ありがとうございました!



(ご意見・ご感想宛先)

●メール・FAX・郵送でお送りください 【E-mail】newsletter@kankyoshimin.org 【FAX】075-211-3531

【郵送】〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 吳波ビル3階 NPO法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛

### 新会員インタビュー:

上野 ひろみ (うえのひろみ)さん / (神奈川県) 4月17日入会

環境保護に関する市民活動に長らく携わってきました。そんな折、ニュースレター4月号の特集記事に感銘を受け、入会を決めました。環境市民で得られる情報や経験に期待しています。



# 環境市民

かんきょうしみんぶんのいち

★環境市民の会員を紹介します

no.36

## 山崎 永文 さん

現在、京都大学地球工学科四年生、日本の環境首都コンテストスタッフ。いつも目を引くファッションのコンセプトは「ちょっと変!?」

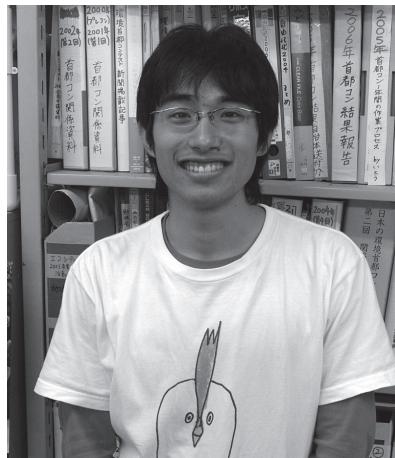
どちらかというと不器用な方だと思います。  
でも、引き受けたことは一生懸命やります。

### ■充実した日々

環境市民では持続可能な社会をめざして、自治体の環境施策を調査、応援する日本の環境首都コンテスト（以下首都コンテスト）というのを実施している。インタビューしたとき、山崎くんは約半年におよぶ首都コンテストにスタッフとしてかかわった日々を終えたばかりで、まだ、興奮させられながらいた感じ。首都コンテストの特集をしている先月号のニュースレターを見ながら、「びっくりしました。僕が担当したところが特集で全部取り上げられています」。長野県飯田市、福井県池田町、山形県遊佐町。その中で一番印象に残っているのは、池田町だという。

「池田町は初参加だったんですけど、とても熱心で、おもしろい試みがいっぱいあって、僕も勉強になりました。それに、やっぱり『ひと』なんだと思いました。担当者の方も、市長さんも、ものすごく熱心で、『ひと』で自治体も変わるんだって」。

山崎くんは、京都大学のインターンとして、環境市民にやってきた。一回生のときに松本さんの講義を聞いて興味をもち、三回生でインターン先を選ぶとき、企業などを選ぶ人が多い中で、前例にはない環境市民を選んだ。その時に、環境市民の事務局スタッフから、『インターン期間の2週間じゃ何もわからないよ。どうせなら、首都コンテストのスタッフをやってみたら』とすすめられて、やる気になったという。「やってみてよかった」とふりかえる。



### ■興味があるのは、ヨシの自然再生力

四回生になり、そろそろ卒業研究に入るところ。今、興味があるのは「ヨシが水をきれいにする力」だという。もともと、自然が好きで、体を動かすことが好きだという。子どものときに行なった尾瀬の自然が印象に残っている。このゴールデンウィークには、スキーを楽しんできた。

「大学を選ぶときに、まだ、なにがやりたいかぼんやりしていて。だんだんと興味が出てきたところで選べるような仕組みのある大学がよかった」と、京都大学を選んだ。ヨシへの興味は早くからあり、今の研究室の先生は琵琶湖研究の権威だという。研究室にはインドネシアなどからの留学生が多く、「国を変えるために来ているんです。意気込みがすごいですよ」。研究室ではヨシなどの水生植物を用いた水質浄化・自然再生の他にも河川に含まれる

微量なフッ素の調査研究なども行っているので、留学生はそちらを研究している人が多いようである。「首都コンテストにかかわって、一番変わったのは、世界的な視点で物事を見られるようになったこと」だという。「これから、ヨシの力をいろいろ研究して、卒業論文に向けて励みたい」。

### ■もったいない精神!?

千葉県出身で、現在一人暮らし。「料理はほとんど自炊です」。朝はご飯が食べたいから、ご飯。昼もパスタなどを作る。昼も家に帰って作って食べることが多いそうだ。「なんか、もったいないですもん。作って売っているものは、高く感じます」。

「夜ごはん？得意料理？麻婆豆腐とかですか」。市販のもとは使わず、豆板醤やみそなどを使って作る。「そんなたいしたもんは作りませんよ」と謙遜しながら。後片づけにもエコなこだわりを見せる。「なるべく、洗剤は使いません。アクリルたわしを使っています。汚れを先にボロ布などで拭き取ったり。あっ、でもケチなだけですよ」と、また謙遜する。

このインタビュー後、初めてのヨシの実地研究に出かけるという山崎くん。もともと実践していたエコな生活に加えて、首都コンテストで培ったグローバルな視点も、これから勉強に役立つことだろう。どんなに忙しいときにも、笑顔を絶やさなかつた山崎くん。そのパワーで、これからもどんな問題も乗り越えていきそうである。

(文・写真/ニュースレター編集部 千葉 有紀子)

今日の  
ありがとう！

目立たないところでも、  
お力を貸してくださった  
方々に、感謝をこめて—。

#### 【ニュースレターの発送】

上田 温子／奥津 登代子／北村 ますみ／佐伯 紹史／  
中山 香織／東 広之／丸山 陽平／矢野 祐史

(五十音順敬称略)

#### 編集部 (五十音順)

有川 真理子	乾 孝史	風岡 宗人
久保 友美	駒 ゆき香	島津 源紀
角出 貴彦	田麦 誠	千葉 有紀子
東 広之	藤岡 洋貴	安江 晃子
下司 智子 (デザイン・レイアウト)		

#### 編集後記

特集の原稿は、各執筆者の方々に忙しい時間をぬって書いていただきました。私は飯田さんの担当で原稿のやりとりをしたのですが、朝の5時に来た原稿に、起きて返事を書いたら、すぐお返事が来てびっくり。環境問題の最前線の方々の忙しさを実感しました。担当者はみんな、原稿の見出し付けに泣き(?)ました。さあ、特集の反応やいかに。

(ニュースレター編集部 / 千葉 有紀子)



# 社員資格を取得して、総会へ行こう！

## 【重要】特定非営利活動法人 環境市民の「社員資格取得申告」についてのお願い

NPO 法人環境市民の定款では、会員のうち社員総会において議決権を有するものを「社員」と呼びます。環境市民会員はどなたでも登録いただくことができますが、社員になるためには「社員資格取得申告書」の提出が必要です。希望される方は、下記フォーマットの必要事項を記入して、郵送、FAX、e-mail のいずれかで京都事務局まで送付してください。あらたに社員資格を申請される場合、社員の期限は、申告書提出日から 2009 年 3 月 31 日となります。

今年も、6 月 21 日（土）に社員総会を開催しますので、ぜひ社員資格を取得の上、ご参加ください。

なお、2007 年度社員だった方で 2008 年 3 月 31 日までに継続の手続きをとっていない方は、新たに資格取得が必要です。

- NPO 法人環境市民定款社員に関する規定は第 11 ~ 15 条です。  
<http://www.kankyooshimin.org/jp/cef/organization/teikan.html>

### NPO 法人環境市民 社員資格取得申告書

NPO 法人 環境市民  
代表理事 枚本育生様

NPO 法人環境市民の社員資格取得を申告します。 2008 年 月 日

■住所：〒

■名前：

■電話：

■ FAX：

■ e-mail：( )

## 環境市民に入会しよう！

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください！

### 会員特典

- 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
- 行事などの参加費を割引させていただきます。
- 会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。
- 環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

### 会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	—
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	—
特別助成会員	50,000円	—
終身会員	一括 80,000 円	
営利法人会員*	1口 50,000 円	50,000円
非営利法人会員*	1口 10,000 円	2,000円

\*年会費は一口以上

### 会費の振込み方法

- (1) 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、「年会費 + 入会金」をご入金ください。  
(※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要)
- (2) ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念としてポストカードをお届けします。

～あなたの支援が環境市民を支えます～

♥ 寄付をする… 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号：01020-7-76578 加入者名：環境市民

(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 枚本 育生 (発行人) 堀 孝弘  
 [TEL] 075-211-3521 [IP 電話] 050-3581-7492 [FAX] 075-211-3531  
 [E-mail] life@kankyooshimin.org [URL] <http://www.kankyooshimin.org>  
 〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル吳波ビル 3 階 (月から金 午前 10:00 から午後 6:00)

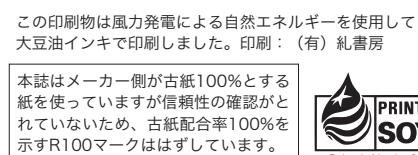
### 環境市民 東海事務所

[TEL&FAX] 052-521-0095 [IP 電話] 050-3604-6182  
 [E-mail] tokai@kankyooshimin.org [URL] <http://www.kankyooshimin.org/tokai/>  
 〒451-0062 名古屋市西区花の木 1-12-12 AOI ビル 4 階

### 環境市民 滋賀事務所

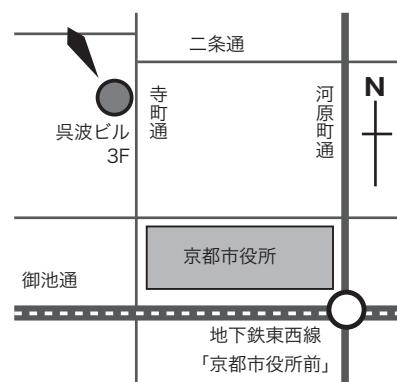
[TEL] 077-522-5837 [E-mail] cefshiga@kankyooshimin.org  
 〒520-0046 大津市長等 2 丁目 9-12 竹 文彦気付

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して  
大豆油インキで印刷しました。印刷：(有) 紙書房  
本誌はメーカー側が古紙 100% とする  
紙を使っていますが信頼性の確認がと  
れていないため、古紙配合率 100% を示す R100 マークははずしています。



本誌の無断複写・複製・転載を  
禁じます。

「環境市民」登録商標 第4809505号



環境市民  
Citizens Environmental Foundation

21 世紀  
地球を、地域を、生活を、  
持続可能な豊かさに

